

# たつみ百恵



千葉女子高校 卒業  
東京女子大学 卒業  
元塾講師・元社協勤務

ボランティア活動  
八千代中央ライオンズクラブ  
「友遊ひろば2」会長  
「こどもバラ絵画展」担当

## 水道事業について

全国では水道管の老朽化に伴い、今年度になって大規模な漏水事故が起こっております。昨今の物価高騰・労務単価の上昇に伴い、維持管理費や給水費用が上昇しております。節水機器の普及・将来の加入者の減少により、今後の水道事業の大幅な增收は想定しづらい現状です。

そのような中でも、浄・給水場の施設・水道管路の更新、災害への対応を進める事が必要です。厳しい経営状況が想定されますが、市民への負担に配慮して頂きながら、持続可能な水道経営の為、経費の精査をして、経営努力に努めていただくよう要望しました。

## 防災について

高津・緑が丘地域について、これまで1次救護所として指定していた医療機関の事態に伴い、新たに「西高津小学校」が指定されました。

自宅の安全確保・ローリングストックを利用した家庭内備蓄の充実等と共に、1次救護所の周知を要望しました。皆様も、必ず来る災害に備えてくださいませ。

## 地域医療について

八千代医療センターは、東葛南部医療地域（千葉県で最大の人口を抱えた医療圏）の中核病院であり、広域性公益性の高い病院です。小児医療・周産期医療分野では市外からの患者数は半数以上を占めています。重要性を訴え、県・国に、公的支援を要望することが必要であると訴えました。

そして、潜在看護師さんの掘り起こしを、引き続きやっていただきたいと要望しました。

## 救急について

八千代市の救急体制は、2署3分署にて、救急業務を遂行。常時6隊体制で運用です。

令和5年・6年と救急出動件数が増加傾向であり、令和6年は、6隊すべての救急隊が出動していた時間が256時間46分。この間発生した335件の救急要請には、救急資格を有する職員を配置した消防ポンプ車等が先行出動。習志野市消防本部より42件の救急応援を受けたとの事です。

総務省消防庁「救急自動車の人口対比の整備数」から算定される八千代市の救急自動車の台数は7台との事。

市民の命を守る為に、救急隊を1隊増隊し、7隊体制を構築していただくよう要望いたしました。

## 道の駅やちよについて

「ふるさとステーション」では、非常用発電機・自立発電運転機能を搭載したガスヒートポンプエアコン及び太陽光発電設備を整備・第3駐車場にヘリポートを整備するなど、防災機能の強化を行っていると確認しました。

9月末よりリニューアル工事です。その間は「農業交流センター」仮設店舗にて農産物の販売をするととの事。利用者への周知を要望しました。

今後も、日々研鑽を重ねます。皆様、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。